

事業名	目的	概要	対象	実施状況 (令和6年度実績) PD(計画・実行)	アウトカム (健康課題の解決度測る指標)	アウトプット (事業の実施量・率の指標)	成功要因 C(評価)	課題及び阻害要因 A(改善)
①特定健康診査	生活習慣病のリスクを高めるメタボリックシンドロームの予防と減少。	対象者へ3月下旬に特定健診受診券を発送。県内の契約医療機関等にて4月から翌年3月31日まで特定健診を実施。支部主催の集団健診。個別の健診。	40歳～74歳の被保険者	・対象者7,874人、受診者5,619人、受診率71.4% (令和5年度は70.5%。前年度から比較すると0.9%受診率増加)	目標 ・内臓脂肪症候群該当者割合(予備群含まない)21% 結果 ・内臓脂肪症候群該当者割合(予備群含まない)21.8%	目標 ・特定健康診査受診率71.5% 結果 ・特定健康診査受診率71.4%	・4月から特定健診が実施できるように3月末に特定健診受診券と一緒に特定健診を受診して頂けるように目的と実施医療機関等を対象者全員へ郵送または各支部へ郵送。 ・未受診者へ電話での受診勧奨(支部や健診機関等)。各支部での会議などでも呼びかけを行っている。特に山形支部(1番大きい支部)と連携し令和5年度から受診しやすいように毎月集団健診を実施。未受診者への受診勧奨も実施。そのため全体の受診率が向上。 ・各支部の担当者が集まる会議の際に支部ごとに経年の受診率を公表し、受診勧奨の必要性と呼びかけを行った。 ・健康教室の際にも健診の必要性と受診勧奨の呼びかけを行っている。 ・規模が大きい山形支部で受診勧奨の取組を行った(昨年度特定健診を受診していない方へ手紙での勧奨) ・機関紙6月15号に受診率向上(健診・保健指導・がん検診)について掲載。	・令和6年度は、目標の71.5%には少し及ばなかった。令和6年度も、かかりつけ医に通院している方は、特定健診を受診していない傾向にある。また、職場で特定健診を受診している方は、健診の結果表を国保組合に提出していただくように呼びかけをしていく。 令和6年度男性が74.1%(R5.73.6%)。女性65.5%(R5.64.2%)。扶養者や女性の受診率が低いため、今後も扶養者や女性に呼びかけを強化。今後も未受診者対策と今まで受診された方の継続受診が必要。対策 ■健診機関・各組合と連携しコロナ禍(令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に変更)後での健診の必要性・感染予防の強化を行っているため安心・安全に受診できる体制を周知していく。
②特定保健指導	メタボリックシンドロームに着目した保健指導を実施し、生活習慣病の予防を図る。	支部主催の集団健診実施者に対して特定保健指導を実施する。	支部主催の集団健診実施者で特定保健指導基準該当者(動機づけ支援又は積極的支援)	・対象者952人(動機付け支援404人、積極的支援548人)。実施者190人(動機付け支援113人、積極的支援77人)。実施率20%。(令和5年度は、24.1%。令和6年度と比較すると4.1%受診率減少)。令和6年度の目標25%には及ばなかった。	目標 ・【中長期】内臓脂肪症候群該当者割合21% (予備群含まない) ➡【結果】内臓脂肪症候群該当者割合21.8% (予備群含まない) 目標 ・【短期】特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率15% ➡【結果】特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率16.2%	目標 ・特定保健指導実施率25% 結果 ・特定保健指導実施率20% (男性18.3%、女性29.3%)	・委託している健診機関と協力しながら、未受診者へ電話での受診勧奨。 ・特定保健指導対象者へ、受診率向上のためのリーフレット「受けよう!! 特定保健指導」を同封している。 ・機関紙や健康教室の際に特定保健指導の必要性を説明。 ・特定健診当日に特定保健指導が実施できるよう健診・医療機関と契約	・令和6年度特定保健指導受診率20%(男性18.3%、女性29.3%)男性の受診率が低い傾向にあるため、男性の方へ積極的に呼びかけていく。 ・令和6年度(第4期特定健診等実施計画)目標25%達成するため受診率向上に向けて、今まで行ってきたことを継続していく。
③糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防	糖尿病及び慢性腎臓病のリスク保有者のおよび受診中断者の早期治療につなげる。	糖尿病及び慢性腎臓病のリスク保有者のうち、未受診および受診中断者に受診勧奨通知の送付を行い、早期の受診を促す。	①糖尿病選定基準当該年度の健診結果で、空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上又はHbA1c6.5%以上 ②慢性腎臓病選定基準により対象となった方	1回目 令和6年12月25日に47名(血糖)、2名(腎)に発送(特定健診2,611名。令和6年4月～9月特定健診の受診者) 2回目 令和7年7月24日に34名(血糖)、8名(腎)に発送(特定健診 2735名。令和6年10月～令和7年3月特定健診の受診者)	①糖尿病 R6年4月～9月健診 目標:医療機関受診率36% 結果:医療機関受診率44.7% ②慢性腎臓病 R6年4月～9月健診 目標:医療機関受診率30% 結果:医療機関受診率0.0%	①糖尿病 目標:受診勧奨者率100% 結果:受診勧奨者率100% ②慢性腎臓病 目標:受診勧奨者率100% 結果:受診勧奨者率100%	・1回目R6年4月～9月健診対象者47名(血糖)・2名(腎)に対して、令和6年12月25日に受診勧奨。令和7年6月27日にレセプト確認。医療機関受診者21名(血糖)・0名(腎)。44.7%(血糖)・0%(腎)が医療機関受診。令和7年6月30日再勧奨。血糖26名・腎2名。 ・2回目R6年10月～R7.3月健診対象者34名(血糖)・8名(腎)に対して、令和7年7月24日に受診勧奨。令和7年11月14～17日にレセプトを確認。医療機関受診者4名(血糖)・6名(腎)。11.8%(血糖)・75%(腎)が医療機関受診。令和7年11月18日再勧奨。血糖30名・腎2名。 ※特定健診を受診し、血糖高い方へ回報書と糖尿病についてのチラシを同封しており、受診勧奨を行っている。	令和6年度の中分類による疾病統計では、3位糖尿病6,960件(構成比6.3%)、医療費189,271,260円。糖尿病による件数も多く、また医療費は、中分類の中で2位となっており、今後も、糖尿病疑いの方への受診勧奨を継続していく。

④ハイリスク受診勧奨通知	疾病の重症化を防ぐために、高血圧・脂質異常症疑いの方を対象者に適切な健康管理と疾病の早期発見及び早期治療を促す。	特定健診受診者で、血圧・コレステロール・中性脂肪の数値が医療機関受診対象者に受診勧奨通知の送付を行い、早期の受診を促す。	当該年度の健診結果で ①血圧⇒収縮期160mmHg以上、又は拡張期110mmHg以上、②脂質⇒LDLコレステロール180mg/dl以上、中性脂肪(随時中性脂肪)1,000mg/dl以上	・1回目 令和6年12月25日に血圧52名、中性脂肪2名、LDLコレステロール71名に受診勧奨を行う。令和6年4月～9月健診受診者。 ・2回目 令和7年7月24日に血圧55名、中性脂肪2名、LDLコレステロール81名に受診勧奨を行う。令和6年10月～令和7年3月健診受診者。	①(血圧)R6年4月～9月健診 目標:医療機関受診率43.4% 結果:医療機関受診率44.2% ②(脂質)R6年4月～9月健診 目標:医療機関受診率18.0% 結果:医療機関受診率47.0%	①(血圧) 目標:受診勧奨者率100% 結果:受診勧奨者率100% ②(脂質) 目標:受診勧奨者率100% 結果:受診勧奨者率100%	・1回目の受診勧奨のレセプト確認は、令和6年12月25日。その結果⇒血圧は52名に受診勧奨を行い、23名受診(44.2%医療機関受診)。中性脂肪2名に受診勧奨を行い、2名受診(100%医療機関受診)。LDLコレステロール71名に受診勧奨を行い、33名受診(46.5%医療機関受診)⇒脂質全体として、35名医療機関受診。73名受診勧奨47.9%(医療機関受診率)。令和7年6月30日再勧奨 血圧29名・LDLコレステロール33名。2回目は、令和7年11月14～17日頃にレセプト確認。その結果⇒血圧は、55名受診勧奨。22名受診(40%医療機関受診)。中性脂肪2名勧奨し、1名受診(50%医療機関受診)。LDLコレステロール81名に受診勧奨を行い、20名受診(24.7%医療機関受診)⇒脂質全体として、21名医療機関受診。83名受診勧奨。25.3%(医療機関受診率)。令和7年11月18日再勧奨 血圧33名・脂質62名(中性脂肪1名・LDLコレステロール61名) ※特定健診を受診し、血圧高値・脂質高値についてのチラシを同封しており、受診勧奨を行っている。	令和6年度の中分類による疾病統計では、1位高血圧性疾患12,231件(構成比11.1%)、医療費136,385,610円。2位脂質異常症7,198件(構成比6.5%)、医療費85,822,270円。3位糖尿病6,960件(構成比6.3%)、医療費189,271,260円。生活習慣による疾病も件数が多く、また医療費も多い(構成比⇒件数全体に占める割合23.9%)ことから今後も、ハイリスクの方への受診勧奨を継続していく。
⑤重複・頻回受診者	重複・頻回受診者の方へ通知を行うことで、服薬及び医療費の適正化を図る。	対象者へ服薬状況・頻回受診について通知し、主治医や薬剤師への相談を支援する。	重複服薬・頻回受診者等	・重複服薬者1名の方へ電話での服薬状況の確認と重複薬剤名について、お薬手帳を持参するように指導を行った。	・重複服薬受診者 目標:服薬状況改善割合80% 結果:服薬状況改善割合80% ・頻回受診者改善割合80% 目標:頻回受診者改善割合80% 結果:対象者なし	①重複服薬 目標:受診勧奨者率100% 結果:受診勧奨率100% ②頻回受診者 目標:受診勧奨者率100% 結果:対象者なし	①重複服薬受診者 対象者1名に電話での確認。たまたま重複して医療機関を受診し、同じような薬を処方していただいた。重複の傾向がある方なので必ず受診する際はお薬手帳を提出していただくこと。その後、重複服薬は改善していた。 ②頻回受診者 対象者なし。	重複・頻回受診者の方へ通知・電話での支援を行うことで、服薬及び医療費の適正化を図ることができる。今後も継続。必要時手紙やリーフレットを同封する。
⑥がん検診補助事業	がんの早期発見及び早期治療。	特定健診を受診された方でがん検診を受診した場合、特定健診料金を含めて13,500円を限度に補助します。	被保険者	実績 ①胃がん検診 対象者10,424名 ⇒受診者 3,318名 ②肺がん検診 対象者10,424名 ⇒受診者 5,315名 ③大腸がん検診 対象者10,424名 ⇒受診者 4,937名 ・集団健診時に特定健診と一緒に受診できる体制を整えている。 ・個別でもがん検診を受診できるようにしている。	・がん受診率(目標)⇒結果 ①胃がん検診35.8%⇒31.8% ②肺がん検診52.6%⇒51.0% ③大腸がん検診49.4%⇒47.4% 目標値を達成することができなかった。	がん受診件数(目標)⇒結果 ①胃がん検診4,200件 ⇒結果 3,318件 ②肺がん検診6,100件 ⇒結果 5,315件 ③大腸がん検診5,800件 ⇒結果 4,937件	・特定健診とがん検診(胃がん・肺がん・大腸がんをセット検診)の契約を行い、特定健診と一緒にがん検診を受診しやすくする。 ・機関紙3月と11月号にがん検診の必要性・受診方法について掲載しています。 ・健康教室の際にがん検診の必要性について説明して受診を呼びかけている。	・呼びかけを強化。KDBシステム⇒レセプト分析よりがんの医療費が高額(全体の医療費に占める割合 構成比14.9%)。令和6年度460,478,730円(令和5年度529,924,040円)。レセプト件数2,937件(令和5年度3,220件)。レセプト一件当たりの医療費156,785円(令和4年度164,573円)昨年度よりレセプトの件数も医療費も減少しているが、1件当たりの医療費もやや減少。がんの早期発見と早期治療のため今後も継続。
⑦ジェネリック医薬品利用促進の通知	調剤の被保険者の自己負担の軽減と医療費適正化のため、ジェネリック医薬品の普及と先発医薬品からの利用切り替えを促進する。	先発医薬品利用者に対して、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の効果額(医療費削減可能額)を通知する。	ジェネリック医薬品に切り替えた場合、自己負担額の削減が見込まれる被保険者	・ジェネリック医薬品普及率 令和6年度平均86.9%(令和5年度86.9%)昨年度平均より普及率向上。	・ジェネリック医薬品数量普及率(平均普及率) 目標:85.8%⇒結果89.9%	目標:受診勧奨率100% ⇒結果:受診勧奨率100%	・保険証交付時にジェネリック医薬品希望シールと一緒に同封し、保険証に貼れるように工夫している。また、ジェネリック医薬品についての説明・効果・安全性についてのチラシも同封している。 ・対象者がジェネリック医薬品に切り替えた場合の自分自身の具体的な削減額を知ることができます。ジェネリック医薬品のお知らせは年2回に変更。当国保組合に係るジェネリック医薬品使用割合は89.9%程度とほぼ上限値に達しており、今後の伸びも緩やかになるものと考えられる。	ジェネリック医薬品普及率は、年々向上している。令和6年度は、89.9%(令和5年度86.9%)で国の80%目標値達成。今後も医療費適正化のため継続必要。
⑧アスベスト健診	じん肺・アスベスト疾病の早期発見及び早期治療を促す。	・じん肺・アスベストに従事していた。又は、従事している40歳以上希望者の方を対象にじん肺・アスベスト健診を実施し、要医療の方には、2次健診を促す。	じん肺・アスベストに従事していた。又は、従事している40歳以上希望者(支部主催の集団健診実施者)	・健診受診者4,977人の内1,387人がアスベスト再読影を希望(再読影率27.9%)。有所見者199人。男性14.6%、女性0.0%(全体では14.3%)。	・目標値:有所見率13.5% ⇒結果:有所見率14.3%	・受診勧奨率100%	集団健診と一緒にアスベスト再読影を実施しているので受診しやすい体制になっています。有所見者の方には、全員医療機関への通知を行っています。R6年度の有所見率(14.3%)はR4年度(13.8%)と比較するとやや多い。	さらに呼びかけを強化。※支部の集団健診を受診された方がアスベスト健診を受診できる契約であるため。じん肺・アスベスト疾病の早期発見及び早期治療を促す。